

1998年8月1日 №38

## 全國一般勞動組合全國協議會

編集発行人 遠 藤 一 郎

東京都港区新橋 3-21-7 松本ビル

$$TEL_0 \cdot 3 = 3 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 4 = 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 6$$

FAX 0 3 - 3 4 3 3 - 0 3 3 4

## 結成四年！タクシードライバーズ の組織化を！ 北九州合同労組

北九州合同労組私達北九

熊本ユニオン・連帶労組山

には黒田副学院長が自ら「転び」フレームアップまでしてきている。また、ストップ突入直後の二人の講師に「生徒からの評判が悪い」と評議を通告している。

# 受験の老舗で駿台予備校で 労働組合結成 全国一般なんぶ

的なリストラと闘う声が、

教室の状況は全く逆で、  
「ユニオンを応援する生徒会」も結成され、置

十八才年齢人口の潮流による専門学校・各種学校の経営危機が言われ、リストラが横行している。受験の

駿台八十年の歴史上初めて  
の労働組合の誕生を促した  
一月、論文科講師を中心

名簿を携え、会社との「団交」を行い、七月の大阪地労委には、年休を取って多数駆けつけている。こんな

名門と言われる駿台予備校もその例外ではなく、この数年、教職員の削減や諸手当のカットなどが進められ

立ち上がった労働組合は、三月には他の学科講師多数を迎えて、新たな要求を掲げて闘いを拡大していく

にクレージーな金久社長・黒田副学院長相手の全面争議となつてゐるが、当該は全労協とユニオン各支部のもと、明るく元気に闘い続けてゐる。

迫した眞の原因は、ワンマ  
ン経営者山崎理事長による  
バブル期のリゾート開発投  
資が失敗したことにある。この  
無責任経営に対しても、

経営の民主化を求める、一方

化である。飢餓賃金状況との闘いは、企業横断的な組合組織化を死活的なものとしている。なんとしてもこの問題に専念したい。

課題に勝手したい

には刑事弾圧を受けながら、の闘いは組合員の定着化では必ずしも成功していない。しかし、地域共闘においては、ラジオメーター労組・

## 連続スクールの「日米英語学院」生徒会 と共に地労委闘争

外国人講師と日本人女

性スタッフが半々で、昨年  
夏スタートしたフレッシュ

会社の脱退工作が続いてい  
る。支部はやむなく九八春



リストラ合理化を許さないぞ



7/18 労基法改悪No!シンポジウム

# 労基法・派遣法改悪 NO!

## 7・18シンポ280名が熱心に討論

七月一八日、東京神保町の神田パンセホールにおいて「労基法・派遣法NO!シンポジウム」が開催された。このシンポは、昨秋以来の労基法改悪反対の闘いを展開してきた「全国キャラバン調整連絡会議」が主催したもので、前日の全国交流会と一体として企画された。

裁量労働制・変形労働時間制の大緩和と労働契約期間上限延長を特徴とする労基法の改悪は、労働時間規制と雇用安定を根底から覆えし労働者の使い捨てを促進するものとして反対連

動の盛り上がりを生んだ。全国キャラバンは各地の運動をつなぎ国会への大きな声として結集して国会内外に影響を与える、その結果、政府自民党をして法案を継続審議とせざるを得ない状況に追い込み、同時に労働者派遣法の改悪案上程を阻止する成果をあげた。政府自民党は、今夏七月末開催の臨時国会で再度法案の採択を目指すとともに、派遣労働の全面自由化をもたらす派遣法改悪を中心職審での労働者委員の反対を無視して強行しようとしている。

しかし参院選の敗北と自民党過半数割れを背景に廃案の可能性も高い。今回のシンポジウムは、この間の闘いの成果を確認するとともに、労基法・派遣法改悪法案を廃案に追い込むための次なる闘いと夏の陣への意志一致をめざすものだ。北海道から九州まで各地二八〇名の参加者は、パネラーの真剣な問題提起に耳を傾け、闘いの意義と方向を確認した。特徴的なことは、いわゆる組織員が多く中小民間の仲間に軸に女性が多く参加した

幅広い集まりであったことだ。

第一部では、労働法制の改定の争点として、角田邦

重中央大学教授から政府・使用者側の狙い、宮里邦雄弁護士から前国会で出された修正案の問題点、井上幸夫弁護士から派遣法改悪の問題点が的確に報告された。

とりわけ、労基法修正案への批判的指摘は今後の廃案にむけた闘いの視点として共感を生むものであった。

第二部では改悪の先取りが進む現場から、女性労働の現状として酒井和子さん(パート研究会)、健康への影響の視点から天明佳臣さん(港町診療所医師)、派遣労働・有期労働の現状として全国一般カンタス航空客乗組合から、生々しい報告があった。

シンポの成果を、九月一日大阪で開かれる反対集会を皮切りに各地の労基署行動や反対集会の連鎖的取り組みに引き継ぎ、再度国会へ攻め登ろう。

この間の闘いの成果を確認するとともに、労基法・派遣法改悪法案を廃案に追い込むための次なる闘いと夏の陣への意志一致をめざすものだ。北海道から九州まで各地二八〇名の参加者は、パネラーの真剣な問題提起に耳を傾け、闘いの意義と方向を確認した。特徴的なことは、いわゆる組織員が多く中小民間の仲間に軸に女性が多く参加した

主内容とする和解を成立させることができました。二名の職場復帰とはなりませ

言及するならば、労働委員会は労働者を迅速に救済する機関としての本来の目的

### ボミー争議解決の報告 宮城合同労組

宮城合同労働組合ボ



森住丸善争議!書店を再開したぞ

を失いかけており、一方裁判所は「整理解雇の四要件」を極端に緩和して「企業の業績」にのみ注目する立場に変化しています。私達は、争議解決後も、労働者の権利を守り、国労の争議と連帶して共に闘う決意を明らかにし、皆様方のご支援に對する御礼の結びといたします。

## 先行する現実！ 周辺事態法の実態！

### 全国一般東京なんぶ

今後の日本の政治的軍事的役割を決定する周辺事態法が臨時国会で審議される。しかし反対の取り組みは低调だ。東京南部は夏期に二回の連続学習会を企画し、取り組みを開始した。

第一回講座は、永年、米軍横田基地反対の取り組みをおこなってきた福生市議会議員の遠藤洋一さんを迎えて開催された。遠藤さんは、周辺事態法の宣伝は圧倒的に政府・防衛庁が勝っていること、それを防衛庁パンフレットを利用しながらわかりやすく説明した。自衛隊を公然と戦争ができる軍隊として認知し軍事優先の体制をつくること、また全世界を対象とする日米軍事協力体制を法的に整備することを主な目的とした。

利を守り、国労の争議と連帶して共に闘う決意を明らかにし、皆様方のご支援に對する御礼の結びといたします。

## 七～八月反戦月間に 取り組もう！

自立労連

私達自立労連では、労組結成以来、運動の柱の一つとして反戦平和の取組をしています。とりわけ、毎年夏には反戦月間としてテーマを決め、様々な企画を開いています。九八年のテーマは「許すな！生活破壊と戦争への道」です。政府・資本家は、世界のコスト競争に勝ち抜く為に「もっと貢献下げ、リストラ、雇用流動化」と叫んでいます。その一方で、アジア・世界に広がる権益を守る為に、アメリカと共に何時でも戦争が出来る道を進めていました。そのため福祉や社会保障が削られようとしている。約三〇名の参加者は「振り向けば、そこは戦場」の現実を強く実感した。

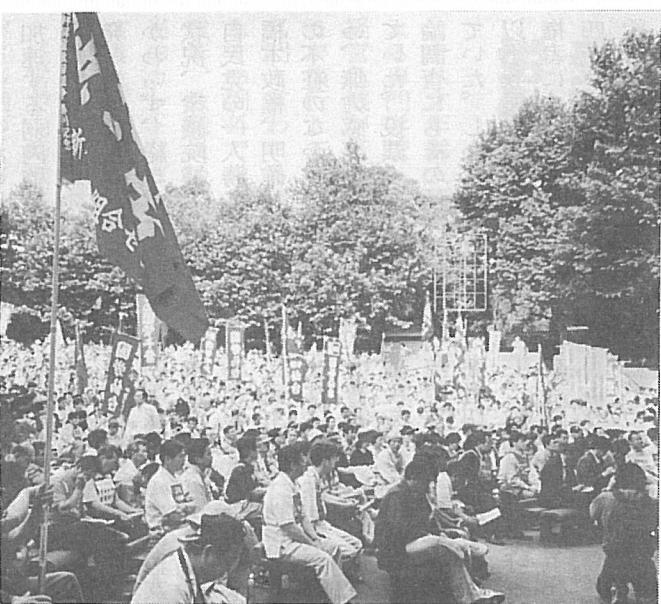
### △寄稿△ 五・二八不当判決許すな

国労闘争団全国連絡会議 事務局次長 田 島 省 三

#### JR採用差別事件の五・二八東京地裁判決は、極め

て反動的なものでした。民事十一部判決は、改革法に書かれていないからJRに責任はないという無茶苦茶なものでしたし、民事十九

判決は、名簿作成に不当労働行為があつた事を設立委員が認識していたならば、JRが負うと言いました。七月～八月にかけて、有事立法、労基法改悪の学習会やビデオ上映、集



5/28 不当判決糾弾日比谷集会

# 全国一般全国協第8回大会に結集しよう！

9月12日(土)13:00 大会第1日・分科会

13日(日) 9:00 大会第2日

13:00 外国人語学学校労働者交流会

芝弥生会館  
きゅりあん

全国一般労働組合全国協議会中央執行委員会

第八回定期大会が九月一日から一三日にかけて東京で開催される。昨年一年間の成果と積み残した課題をしっかりと総括し、全国の中小労働者・中小労組の闘いの更なる発展、中小労働者の全国センターの中心的役割を担う全国協の組織的強化を押し進める方針を決定する。

政府財界は労働者・市民の声を無視し、景気回復の特効薬として「規制緩和」を掲げ、労働者をいつでも使い捨てにできる政策への転換を図ろうとした。「規制緩和」は大資本の離合解散と中小企業の切り捨てを一気に進めている。しかし労働基準法の抜本的改悪に反対する闘いは「全国キャラバン」を挟み、労働団体の枠を越えて労働者の憤激を呼び起こし、成立を阻んで継続審議させた。先の参議院選挙も橋本自民党政権に痛烈に打撃を与えた労働者市民は怒りを表明した。全国協は、労基法改悪反対闘争を最大の課題として据え、全国キャラバンを提案しその中心を担つて奮闘した。全国キャラバンは、

地域運動が久しく解体的状況にあった中で、新しい地域共闘を一日共闘とはいえた。今後更に労働者派遣法、組織犯罪対策法を始め、福祉切り捨てのための法改悪など様々な労働者攻撃は続くだろう。我々は闘いを今まで以上に幅広く、団体・組織を越えて作り出していく必要がある。

深刻な不況は全国協加盟の単組にもリストラ合理化の波は激しく襲いかかっている。昨年からの争議であった森住丸善闘争は勝利的和解を得られ、労働相談の激増によって新しい職場での組織化も進んでいる。しかし一方では、経営が困難になつた職場も多くなり、必死で職場を守る闘いが展開されている。九八春闘では私たちの全力を尽くした闘いにも関わらず極めて低い回答を突破することが出来なかつた。そして多くの職場で賃上げ、夏期一時金闘争が未解決のままである。

の闘いとしては未だ十分に闘ってきたとはいえない。

第八回大会は昨年の闘いを更に発展させることはもとより、全ての闘いの分野で今まで以上に幅広い戦線の形成が求められる。今中小労働者は生活と権利を様々に奪い取られようとしている。労働者の圧倒的多数を占める中小労働者の怒りをくみ取り、組織していくことが重要である。我々が、中小労働者の全国センターを建設するという願いは今全ての中小企業で働く労働者の願いである。我々全国協の独自的発展で事足りる時代ではない。全国キャラバンが浮き彫りにし、参議院選挙で示された労働者の怒りを大きな潮流へつなげていかなければならぬ。第八回大会は大きな議論を巻き起こし、中小労働運動の大きなうねりを作り出している。しかし、もうこれ以上我慢できないという有権者によって、投票率が四ポイントも上がった。政治には無関心と言われていた。

ノンを締結し、沖縄基地闘争の庄毅に全力を傾注している。私たちの反戦平和闘争はこの一年沖縄の人々の米軍基地撤去の闘いと連帶を強めてきたが、全国協全体の闘いとしては未だ十分に闘ってきたとはいえない。

第八回大会は昨年の闘いを更に発展させることはもとより、全ての闘いの分野で今まで以上に幅広い戦線の形成が求められる。今中小労働者は生活と権利を様々に奪い取られようとしている。労働者の圧倒的多数を占める中小労働者の怒りをくみ取り、組織していくことが重要である。我々が、中小労働者の全国センターを建設するという願いは今全ての中小企業で働く労働者の願いである。我々全国協の独自的発展で事足りる時代ではない。全国キャラバンが浮き彫りにし、参議院選挙で示された労働者の怒りを大きな潮流へつなげていかなければならぬ。第八回大会は大きな議論を巻き起こし、中小労働運動の大きなうねりを作り出している。しかし、もうこれ以上我慢できないという有権者によって、投票率が四ポイントも上がった。政治には無関心と言われていた。

ノンを締結し、沖縄基地闘争の庄毅に全力を傾注している。私たちの反戦平和闘争はこの一年沖縄の人々の米軍基地撤去の闘いと連帶を強めてきたが、全国協全体の闘いとしては未だ十分に闘ってきたとはいえない。

第八回大会は昨年の闘いを更に発展させることはもとより、全ての闘いの分野で今まで以上に幅広い戦線の形成が求められる。今中小労働者は生活と権利を様々に奪い取られようとしている。労働者の圧倒的多数を占める中小労働者の怒りをくみ取り、組織していくことが重要である。我々が、中小労働者の全国センターを建設するという願いは今全ての中小企業で働く労働者の願いである。我々全国協の独自的発展で事足りる時代ではない。全国キャラバンが浮き彫りにし、参議院選挙で示された労働者の怒りを大きな潮流へつなげていかなければならぬ。第八回大会は大きな議論を巻き起こし、中小労働運動の大きなうねりを作り出している。しかし、もうこれ以上我慢できないという有権者によって、投票率が四ポイントも上がった。政治には無関心と言われていた。

## 七月参議院選挙！ 民衆の怒り、自民党政治NO！を表明

労働者階級を先頭とし、規制緩和、弱者切り捨て攻撃を阻止する政治闘争、大衆闘争の構築を！参議院選挙は多くの事前予測と異なり、自民党的惨敗、民主党・共産党的躍進という結果となつた。銀行、証券の相次ぐ倒産、金融危機、経済の失速と大量失業、年金医療の負担増、消費税5%アップによる生活の圧迫、更に加速する弱肉強食の規制緩和攻撃と、民衆の怒りは爆発一步手前だった。にもかかわらず、総与党化の政治状況、衆議院補欠選挙での自民党的一人勝ち、居直る橋本政権、明確な対抗勢力の不在のなか、政治への諦め、無力感が全体をおおつていた。投票一週間前の世論調査にもその傾向は現れていた。しかし、もうこれ以上我慢できないという有権者によって、投票率が四ポイントも上がった。政治には無関心と言われていた。

た若者達も投票所に向かった。そして、自民党支持者の三五%が、他党へ投票したと言っている。とりわけ埼玉・東京・神奈川・愛知・京都・大阪・兵庫の大都市圏では、自民党の当選者は一人もいない。民衆の怒りは自民党政治NO！をはっきりと意思表示した。この変化をしっかりと掴まなければならない。同時に民衆のこの声を吸収した国民党政治への対抗勢力も明確には登場していない。旧田中派で、小沢の盟友が幹事長を勤める民主党にそれを求めるることは出来ない。

民主党は、自民党とグルになって労基法改悪案を成立させようとした。また消費税をダウントさせる事する反対なのだ。「規制緩和、弱者切り捨て攻撃」と対抗し、労働と生活を守り抜く政治闘争、大衆闘争を構築しよう。今こそ労働者階級はその先頭に立とう。